

“不得了！大地震了！怎样跟您所惦记的家人取得联络呢？”

あお じ しん しんぱい かぞく れんらく と
「すわ、大地震！心配な家族にどうやって連絡を取りますか？」

さいがい じ あん び かくにん ほうぼう
灾害发生时确认家人平安与否的方法／災害時の安否確認の方法

当灾害发生时，最为担心的就是家里及关系亲近的人是否平安无事。或许有的人经历过这样的事情：关键的时候，不管怎么打电话想确认家人平安与否，电话就是打不通。

据有关调查显示，当居住在远方的家人或亲属遭遇灾害时，六成的人表示希望“通过话筒直接通话”这一方式来取得联络。因此，人们一窝蜂地、不间断地打电话，最终导致电话线被打爆、无论怎么打都打不通的情形。这样不仅会加重自己不安的心情，而且还有可能对呼叫消防及救护车等救援·救生各项活动带来妨碍。为了避免发生类似的事情，当灾害降临时，电信公司便会启动对超出转换器处理能力之外的电话进行限制的举措。
 (接下页)



災害時、一番心配なのは家族や親しい人たちの安否。しかし、いざというときに、安否の確認をしようと電話を何度もつなげられないといった経験をした方もいらっしゃるのではないかでしょうか。

ある調査では、遠方にいる家族や親戚が災害にあったとき、6割の人は「電話による直接通話」で連絡を取りたいと思うそうです。その結果、殺到する電話利用者で電話回線はパンクし、いくらかけても通じず、余計に不安が募ってしまうだけでなく、消防車や救急車を呼ぶといった救援・救命活動に支障をきたしてしまうということも起こりかねません。こういった事態を防ぐために、災害時には電話会社が交換機の処理能力を超えた分の電話を人為的に抑制する通信規制を行います。(次頁に続<)

(接前页)为此,受災地区内の電話优先通話,而从受災地区以外来的電話被极力控制。平成 7 年 1 月阪神・淡路大地震发生时便是如此,电话难以打通的情况据说整整持续了五天。

立足于这样的教训,为应对今后可能发生的大地震,各种确认家人平安与否的对策已经开始导入。在此,我们打算给大家介绍其中的几种。只是,仅仅自己一个人了解如何与家人取得联络并不为足,更为重要的是,在平素就应该与灾情一旦发生时急需取得联络的家人充分商量好到时候通过什么样的方式来联系。另外,各电信公司都在特定的期间(除元旦以外,每月 1 日、防灾周期间的 8 月 30 日~9 月 5 日、防灾与志愿周期间的 1 月 15 日~21 日)分别开展灾情发生时的电话服务体验活动,因此与家人及好友等一起尝试一下,也是不错的。

1 灾情发生时的传信拨号(NTT 东・西日本)

发生强度为“弱 6 级”以上的地震时即可拨打传信电话;若地震强度低于 6 级或是火山爆发等灾情发生时,仅限于打往受災地区的电话极为集中的情况下,“灾情发生时的传信号码”便可以被拨打。此号码的拨打方式为:

① 录・放留言的方法

ア 可以进行录音・重放的电话号码

受災地区的电话号码(以都道府县为单位)

イ 录音・重放的方法

拨打到传信拨号中心 171 (いない)



录音键为 1 (有暗号的录音键为 3)

重放键为 2 (有暗号的重放键为 4)



拨打受災地区的电话号码(请务必先拨打市区号)



若为拨号盘式电话,需要听从话音的指示录・放留言,完成后将话筒放回原处。

(前ページより)そのため、被災地内の通信を優先し、被災地外からの通信は極端に制限されることとなります。平成 7 年 1 月の阪神・淡路大震災の時には、このように電話のつながりにくい状況が延々 5 日間も続いたそうです。

このような教訓をふまえ、今後起こるかもしれない大地震や災害に備えて、安否確認の方法についてもいろんな対策がとられ始めています。今回はそのいくつかをご紹介したいと思いますが、大事なことは、自分がこれらの方を知っているというではなく、いざというときに連絡を取りたい相手とどのような方法で連絡をとるかというふうことを常日頃から十分に確認しておくことです。また、各電話会社では特定の時期(元旦を除く毎月 1 日、防災週間の 8 月 30 日~9 月 5 日、防災とボランティア週間の 1 月 15 日~21 日)に、それぞれの災害時サービスを体験利用できるようにしていますので、一度、家族や知人などと一緒に試してみると良いかもしれません。

1 灾害用伝言ダイヤル(NTT 東・西日本)

震度 6 弱以上 の地震が起きたときには直ちに、また、それ以下の地震や噴火などが起きたときには、被災地への通話等が極端に集中した場合に限って、「災害用伝言ダイヤル」の利用が可能となります。この伝言ダイヤルの利用方法は、次のとおりです。

① 伝言の録音・再生方法

ア 録音・再生できる電話番号

被災地の電話番号(都道府県単位)

イ 録音・再生方法

伝言ダイヤルセンター 171 (いな

若为按键式电话，需要先按 1 和 # 字键之后再录・放留言，完成之后按 9 和 # 字键

再将话筒放回原处。



② 有关留言的录音及保存时间

ア 录音时间

一条留言的时间为 30 秒以内（来自同一号码的、可能登录的留言条数最多为 10 条，至于可能登录的具体留言条数，会因灾害发生时的情况而有所不同。）

イ 保存时间

录音完毕后 48 个小时（一旦超过保存时间，留言便会被自动洗去。）

③ 可以拨打的电话种类

家庭电话、公用电话、手机（部分电信公司的牌号除外）以及设置在受灾地区的特设公用电话都可以拨打。只是以来自受灾地区的录音电话优先，其次才是来自受灾地区以外的，因此有可能出现留言暂时录不进去的情况。（但此时重放留言不受影响）

④ 费用

传信号码的拨打是免费的，但录・放留言需要付费。只是当受灾地区的公用电话实施免费制，以及受灾地区设置了专用的特设公用电话时，从这些电话机拨打出去的电话，都是免费的。

い) にダイヤルします。

録音は 1 (暗証番号を利用する録音は 3)

再生は 2 (暗証番号を利用する再生は 4)

被災地の電話番号 (市外局番もかならず入れること) をダイヤル

回転ダイヤル式電話の場合は、音声案内に従って伝言を録音又は再生し、終了したら受話器を置きます。

プッシュボタン式電話の場合は、# を押してから伝言を録音又は再生し、終了したら 9 # を押してから受話器を置きます。

② 伝言の録音時間、保存期間

ア 録音時間

1 伝言あたり 30 秒以内 (1 電話番号あたりの伝言登録可能数は、最高 10 伝言までで、具体的な登録可能な数は、そのときの状況により異なります。)

イ 保存期間 (時間)

録音後 48 時間 (保存期間を経過した時点で、伝言は自動的に消去されます。)

③ 利用できる電話の種類

一般電話、公衆電話、携帯電話 (一部の電話会社のものを除く。) 及び被災地に設置する特設公衆電話から利用することができます。ただし、被災地以外からの録音については、被災地での録音が優先されるため、しばらく利用できない場合があります (この場合でも再生



2 灾情发生时的留言揭示板服务 (NTT ドコモ、ボーダフォン、au 等各手机通信公司)

当发生强度为“弱 6 级”以上的地震等大规模灾害时，留言揭示板服务便开始启动。

身处受灾地区(只有ボーダフォン一个公司的服务扩大到其它地区)的人可以在手机的屏幕上登录自己的安否情况，而在灾区或灾区以外地区的家人及亲友，可以通过手机或电脑来确认。另外，还可以向事先登录好的联络人自动发送由当事者本人留下的安否情报。

由于这种通讯体系与通话服务进行的是分别管理，所以去年十一月新潟县中越地区发生地震的时候，留言揭示板服务未设置任何限制，据说也没有发生信息发送方面的问题。另外，今年八月宫城县南部地震时，灾情发生后的四天之内，据说明在上述 1 中讲到的传信拨号的使用件数大约为三万件，而留言揭示板服务的使用件数则为二十万件左右。

以下为留言揭示板服务的使用方法：

① 登录留言的方法

从“平安无事”、“受灾了”、“在家”、“在避难处”等条目中选择有关受灾情况及状态的文字(也可以重复选择或不选择)，同时将自己要传达的留言，按“全角型”字体、百字数以内输入手机。

每一个手机号最多可以登录的留言条数为十条，第十条以后的留言将依次洗去前

は可能です)。

④ 利用 料 金

伝言ダイヤルセンターの利用料は無りですが、伝言の録音・再生時の通話料は有料です。ただし、被災地内の公衆電話が無料化された時や被災地に特設公衆電話が設置された時には、これらの公衆電話からの利用は全て無料となります。

2 災害用伝言板サービス(NTT ドコモ、ボーダフォン、au など携帯電話各社)
震度 6 弱以上の地震など大規模災害が発生すると、災害用伝言板サービスが開始する仕組みになっています。

被災地(ボーダフォンのみは、それ以外の地域も含む)にいる人は自分の安否情報を携帯電話の画面から登録することができます、その情報を被災地やそれ以外の地域にいる家族や友人は、携帯電話やパソコンで確認することができます。また、事前に登録した人に、その情報を自動的に送信することもできます。

この通信システムは、通話とは別個に管理できるために、昨年 11 月の新潟県中越地震の際には、一切通信規制を行わなかったのに、アクセスに問題が生じなかつたといいます。また、今年 8 月の宮城県南部地震では、発生から 4 日間で、上記 1 の災害用伝言ダイヤル約 3 万件に対して、災害用伝言板サービスが約 20 万件の利用があったと言います。

この災害用伝言板サービスの利用方法は、次のとあります。

① メッセージの登録方法

被災の状況や状態について、「無事です」「被害があります」「自宅に居ます」

面所登录的内容。同时最长保存时间为登录完毕后七十二个小时。

② 留言的确认方法

调出各自手机上的“留言揭示板服务”屏面，再输入对方的手机号码（仅限于同一个手机通讯公司），就可以确认到对方登录的留言。

另外，不同通讯公司的手机、PHS 以及电脑，可以通过下述网址与“留言揭示板服务”连线：

N T T ドコモ

<http://dengon.docomo.ne.jp/>

ボーダフォン

<http://dengon.vodafone.ne.jp/>

au <http://dengon.ezweb.ne.jp/>

③ 其它服务

除去以上所介绍的几种服务以外，其它的服务还有：若是灾情发生时，事先登录好需要向其传递自己安否情报之人的邮址（不同公司的手机或电脑的邮箱号码亦可）的话，只要对方在灾情发生时的留言揭示板上留下留言，就会被自动传出去（ボーダフォン及 au）；另外就是根据情况，将登录在留言揭示板上的留言通知给对方的“登录通知短信”服务（仅 N T T ドコモ有此项服务）

④ 费用

同一个手机通讯公司的灾情发生时留言揭示板服务是免费的。但连接其它公司通讯提供的留言揭示板服务时，需要支付传送通讯费。另外，上述③中所介绍的登录通知短信服务，其发送费用虽然是免费的，但接收及向登录通知短信服务站回复时，亦需支付传送通讯费。



「避難所に居ます」などのうちから選択（複数選択や選択しないことも可）するとともに、コメントを全角 100 文字以内で入力します。

メッセージの登録可能件数は、1 携帯電話番号あたり 10 件で、10 件を超えるメッセージは古いものから順次上書きされます。また、メッセージの保存時間は、登録から最大 72 時間です。

② メッセージの確認方法

それぞれの携帯電話の「災害用伝言板」の画面から相手の携帯電話番号（契約会社が同じものに限る）を入力すれば登録されたメッセージを確認することができます。

なあ、他社の携帯電話、P H S、パソコンなどからは、それぞれ次のアドレスにより各社の「災害用伝言板」にアクセスすることができます。

N T T ドコモ

<http://dengon.docomo.ne.jp/>

ボーダフォン

<http://dengon.vodafone.ne.jp/>

au <http://dengon.ezweb.ne.jp/>

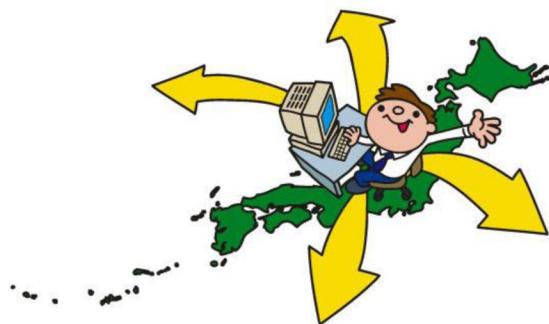
③ その他のサービス

以上のほか、災害にあった時に安否情報を伝えたい人のメールアドレス（他社の携帯電話やインターネットのアドレスでも可）を事前に登録しておけば、それらの人に対して、災害用伝言板にメッセージが登録されたことを自動的に通知するサービス（ボーダフォン及び au）や災害用伝言板に登録されたメッセージの内容を必要に応じて通知する「登録通知メール」というサービス（N T T ドコモのみ）があります。

3 NTT東・西日本电信公司除了上述1中的服务以外,还新增并开始试行提供可以登录・浏览传信情报(文字、声音、图像)的“灾情发生时的宽带留言板 web171”(<https://www.web171.jp>)服务。

随着电脑的普及,受灾地区的居民借助互联网连线传信板网站、或是以电话号码或姓氏・口令为钥匙,进入传言情报的相关网站,使传言情报的登录服务成为了可能。另外,登录在传信板上的情报信息,又会在全国(包括海外)各地因着这把钥匙而被打开、浏览或追加登录新的信息情报。

综上所述,利用电信・电话系统来确认平安与否这一方式,实际上已被投入到最近发生的大地震中来,并且发挥了较好的作用。只是震灾发生时即使各个通讯公司的基站没有问题,连接基站的电缆也会出现断裂及停电的情况,再者就是如果东京等大都市发生大地震时,传信板网站究竟能发挥多大的功能,这些都还是一个未知数。所以,虽说有点原始,但离家避难的时候,在家门前或避难处等地方,给家里或关系亲密的人贴上一个条子,也是有效的办法。总之,我们在平时就应该考虑如何通过各种手段发出信息、确认安否。



④ 利用料金

同一の会社どうしの災害用伝言板サービスの利用料は無料ですが、他社が提供する災害用伝言板サービスへのアクセスにはパケット通信料がかかります。また、③の登録通知メールについては、送信は無料ですが、受信及び登録通知メールに対する返信にはパケット通信料がかかります。

3 NTT東・西日本では、電話(音声)による上記1のサービスに加え、新たに伝言情報(文字、音声、画像)の登録・閲覧が可能な「災害用ブロードバンド伝言板web171」(<https://www.web171.jp>)を試行提供しています。

パソコンの普及に伴い、被災地域の住民がインターネットを経由して伝言板サイトにアクセスし、電話番号又は氏名・パスワードをキーとして、伝言情報の登録が可能なサービスです。また、登録された伝言情報は、キーにより全国(海外を含む)から閲覧や追加伝言登録が可能となっています。

以上のような電信・電話システムを利用する安否確認については、最近の大きな地震の際に実際に使われ、効果を発揮していますが、各電話会社の基地局そのものには問題がなくとも基地局間を結ぶケーブルの切断や停電、或いは、東京などの大都市で大地震が起こった際にどの程度機能するかは未知数です。原始的なようですが、避難する際に自宅前や避難所などに離れ離れになつた家族・友人あての貼り紙をしておくのも有効でしょう。いろいろな方法で情報を発信し、確認する方法を日頃から考えておきたいものです。